

# 東京教区時報

第1227号  
2011年10月30日発行  
日本聖公会東京教区  
港区芝公園3-6-18  
編集人 英 久子

WEB: <http://www.nskk.org/tokyo/index.htm> E-MAIL: [comm.tko@nskk.org](mailto:comm.tko@nskk.org)  
Phone: 03-3433-0987, Fax: 03-3433-8678 Diocese Office

11月の代祷・信施奉献先  
人権活動を支える主日(11月最終主日11・27) 笹島キリスト教連絡会のため 諸聖徒幼稚園のため 障害者週間のため(13日・19日)  
聖信受領  
10月16日 聖オルバン教会  
アグボ・チディエベレ・ゴズ  
イエム(聖オルバン)  
10月23日 聖ルカ礼拝堂  
和佐田愛華 木内マミ 加藤俊憲(聖ルカ)  
小金井聖公会ハープコンサート 演奏 北政芙美子。11月6日(日) 13時半、同教会。入場無料。照会 042(381) 3256・同教会  
11月聖路加国際病院礼拝堂  
《夕の祈り》 3日(木) 18時

半、オルガン演奏に引き続き19時から。演奏者 懸川みどり。入場無料(会場献金)。  
11月銀座朝祷会 8日・22日  
(火) 7時半。喫茶室ルノアール・ニュー銀座。照会 042(796)1498・同世話人。  
11月西新の会 8日(火) 19時半 聖餐式・聖書の学び(鈴木裕二司祭) 22日(火) 10時半 聖書の学び(田光信幸司祭) 井草地域区民センター。照会 03(3951)5010・目白聖公会。  
秋のバザー(4) 10月30日 聖パトリック(11時~14時) \*アンケートにご協力ください 各教会・礼拝堂宛「教区時報」30日号に同封しました。(広報委員会)

今週・来週の予定  
10月30日~11月12日  
30(日) 聖霊降臨後第20主日 主教巡回 葛飾茨十字教会  
11月  
1(火) 教区墓地礼拝 正義と平和協議会運営委員会  
2(水) 教区墓地礼拝  
3(木) チャリティーデイ(支援対策本部)  
5(土) 聖地旅行説明会  
6(日) 聖霊降臨後第21主日 主教巡回 東京諸聖徒教会  
7(月) 聖職養成委員会  
8(火) 銀座朝祷会 教財務サービス委員会 礼拝音楽委員会  
9(水) 信仰と生活委員会  
10(木) 宣教協議準備会  
11(金) 広報委員会 外濠G牧師協議会(目白)  
12(土) 教区会前意見交換会

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

5年前、洗礼を受けると決めて聖書を学んでいた時、いたく感動した箇所があった。ペトロの裏切りを予想しているイエスが、彼の信仰がなくならないよう祈る場面である(ルカ22・31・34)。  
ペトロは、まさか自分がイエスを裏切るなどとは思ってもないので、イエスの言っていることがよくわからない。イエスの言ったとおりになって、ようやくイエスの思いを理解するのである。

## 《み手のなかで》

### 不惑の決意

大学で学生たちを見ていると、時々ペトロのことを思い出します。若い彼らは怖いもの知らずで自信に満ち溢れ、大人に多少、耳の痛いことを言われてもいまひとつピンとこない。屈託がなく、社会に出れば現実という荒波が待っていることなどは恐らく想像していない。

### 巻 小 山 畠

でも私はそんな学生たちを好ましく思う。なぜなら私も全く同じであったから。20代の頃は何でも一人で出来るような気になっていた。やりたいことをやるために、家族や先生や上司がどれほど心を砕いてくれているかがわからなかった。そのうち相次いで両親が亡くなり、自分一人では解決しきれない問題などに直面して初めて、周囲の人々が私の想像をはるかに超える大きな愛で守ってくれていたことに気付いたのである。

不惑を迎え、愚かなペトロはもうそろそろ卒業だ。神の大きなご計画の中、多くの人に赦されて今の自分があることに感謝したい。そしてこれからはイエス様の方に近づいていく。いつも愛ある人でいたいと思う。言うは易く行つは難し。

(聖路加看護大学学長室秘書)

常置委員会報告(10月17日)  
 \* 2012年度教区収支予算案につき財政委員長から説明を受け協議・了承

\* 教区費分担金制度変更議案につき、同検討委員長から説明を受け協議・了承

\* 主教会(9月27日・29日・神戸)では、危機管理の検討についての話し合いがあった、教区資料の管理保全など検討する必要がある。小笠原訪問時期の延期。教区会前の準備についてなど主教報告。

\* 財務諸表ほか、担当主事らの報告を了承

\* 次期諸委員会委員長委嘱の件  
 \* 教区事務所の支払・出金管理規定の件を了承  
 \* その他

信仰と生活委員会報告(10月13日)

\* 宣教主事・各委員会・教会グループ等報告

\* 「こども」の聖歌創作ワークショップ「第1回(9月17日)の報告」第2回(10月15日)の準備、講師の招聘について協議

\* 11月19日に開催する「裸足の宣教」の学びのチラシを検討。  
 \* 立教大学メサイア演奏会パンフレット広告協賛金支出承認  
 \* 2012年度予算案及び活動計画について協議

いっしょに歩こう!

被災者支援チャリティイベント

聖パトリック教会 永野  
 光太郎ピアノコンサート。11月3日(木)16時、同教会。入場料=3千円。照会 042(523)1672・同教会。

《今、この教会では...》

東京聖テモテ教会

当教会では昨年「テモテ教会の将来計画を検討する会」が発足、比較的年齢の若いメンバーが集まって、当教会の将来像について、今も討議を続けています。信仰と礼拝とは？神様を信じるとは？当教会のたからものは何？等々議論をすればするほど、事の深さと重みを実感しています。これまでに数回の勉強会を開催し、メンバーだけでなくできるだけ多くの信徒にも参加してもらい、皆で考え語り合いながら、信徒全体で将来を模索してきました。神様のお導きの下、当教会の将来の姿が徐々に見えつつあります。

(高城 聡)

掲載記事転用の場合は事前連絡のこと

## 【クローズアップ】98

聖職養成委員会主催

第1回信徒黙想会に参加して

9月23日午後から24日午後までの丸一日ナザレ修女会にて開催された、標記信徒研修・黙想会に参加いたしました(参加者数、合計28名)。

講師は竹内謙太郎司祭で、対象は信徒奉事者を始めとする礼拝奉仕者でした。講演は礼拝についてその歴史から始められ、祈禱書成立の過程と現行祈禱書の解説、ことに洗礼堅信式と聖餐式のルブリックについて延べ8時間に及び、さらに礼拝・黙想のときを持つという盛りだくさんの内容でした。

開会の挨拶として吉松委員長から、各教会グループとの話し

合いの結果、共通して信徒教育の重要性が提言された事を契機として開催に至った、今回の信徒研修黙想会の企画について熱い思いが語られました。

8月にも外濠教会グループ牧師協議会主催の信徒奉事者の学びのときが開催されましたが、今回は若干視点を変えた内容で、新任の信徒奉事者の私にとって実にタイムリーな企画でした。

講演の中で、礼拝はこの世界における限界からの解放の旅であり、主の陪餐こそが限界を超えたものに出会う機会であるということと、第1次大戦後の宗教改革で初代教会への回帰がやっと実現し、信徒の参加が見直されてきた経緯が語られました。その中で、礼拝は「本物」を求める場であり

すべての役割においてベストを尽くすことが求められていること、さらに現在の教会では信徒奉事者に執事職の働きが期待されているが、それは十分可能であると力説されました。

この集いを通して、教区内の信徒奉事者の結集と、教育訓練の実施が教会活性化に必要であり、とくに若い世代を各教会で信徒奉事者として礼拝を実践する立場として積極的に抜擢・訓練することが、教会生活に根付いた神学生を生み出すきっかけになると思われました。

今後、聖職養成委員会には「信徒力」向上のためのプログラムの企画を期待致します。

東京聖テモテ教会

横山 融